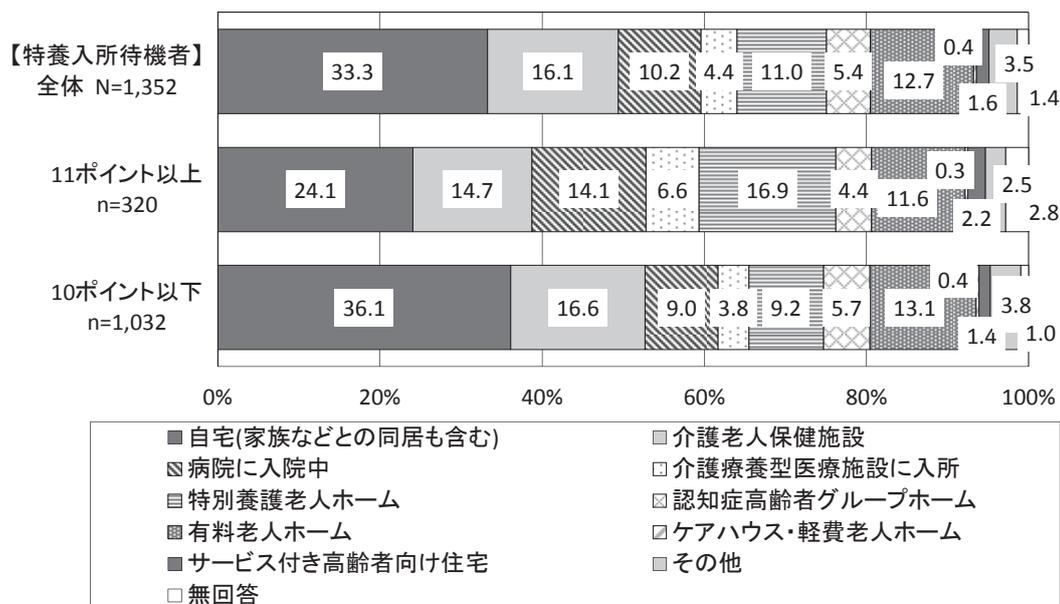


9 特別養護老人ホーム入所申込みの状況

(1) 現在の生活場所

- 「自宅」が約3割、「施設や病院など自宅以外」が約7割を占めている。
- 「自宅」以外では、「介護老人保健施設」(16.1%)が最も多く、次いで「有料老人ホーム」(12.7%)、「特別養護老人ホーム」(11.0%)となっている。

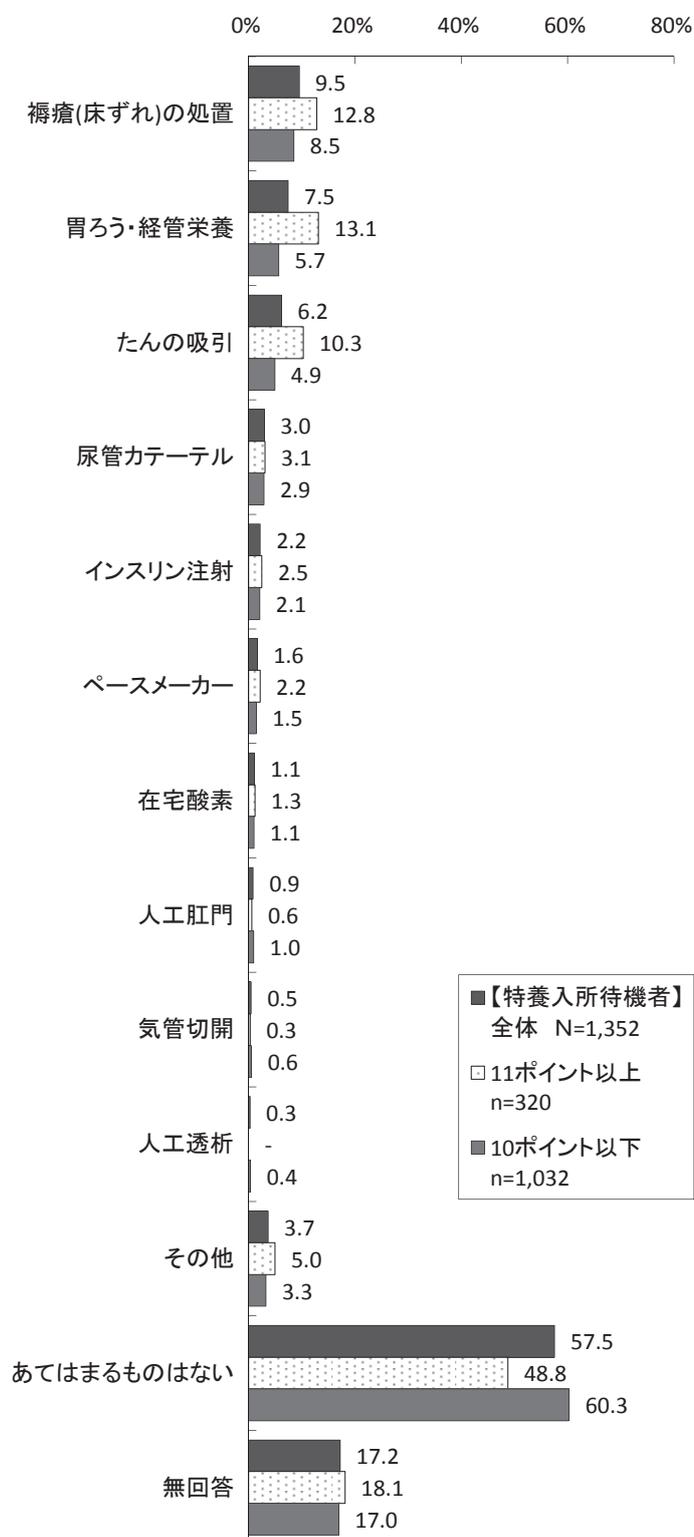
■現在の生活場所



(2) 医療処置の状況

- 特別養護老人ホーム入所待機者の医療処置の状況は、「あてはまるものはない」が約6割を占めている。
- 医療処置が必要な場合は、「褥瘡(床ずれ)の処置」が最も多く9.5%、次いで「胃ろう・経管栄養」が7.5%、「たんの吸引」が6.2%となっている。

■医療処置の状況（複数回答）

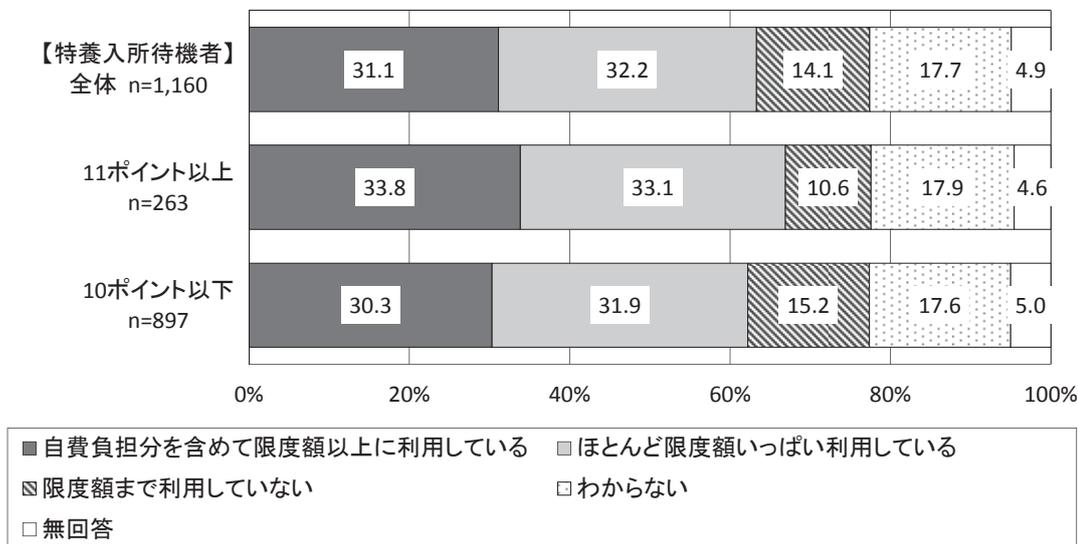


(3) 支給限度額に対する介護サービスの利用

① 支給限度額に対する介護サービスの利用状況

○ “何らかの介護サービスを利用している”と回答した人の利用状況は、「ほとんど限度額いっぱい利用している」が最も多く 32.2%、「自費負担分を含めて限度額以上に利用している」(31.1%)と回答した人も含めると、“支給限度額まで利用している人”が6割を超えている。

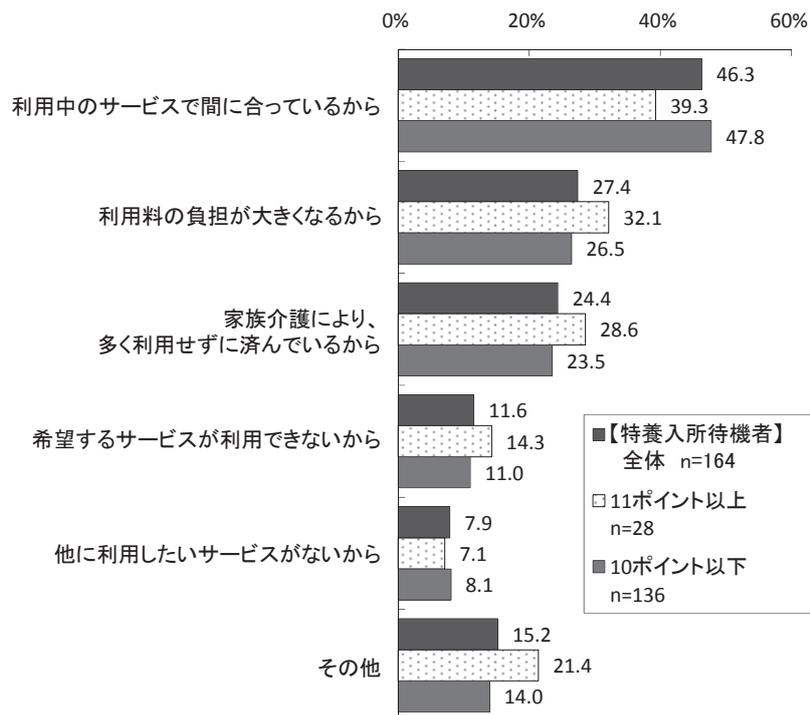
■ 支給限度額に対する介護サービスの利用状況



② 支給限度額まで利用していない理由

○ 支給限度額に対する介護サービスの利用状況で「限度額まで利用していない」と回答した人の支給限度額まで利用していない理由は、「利用中のサービスで間に合っているから」が最も多く 46.3%、次いで「利用料の負担が大きくなるから」が 27.4%、「家族介護により、多く利用せずに済んでいるから」が 24.4%と続いている。

■ 支給限度額まで利用していない理由（複数回答）

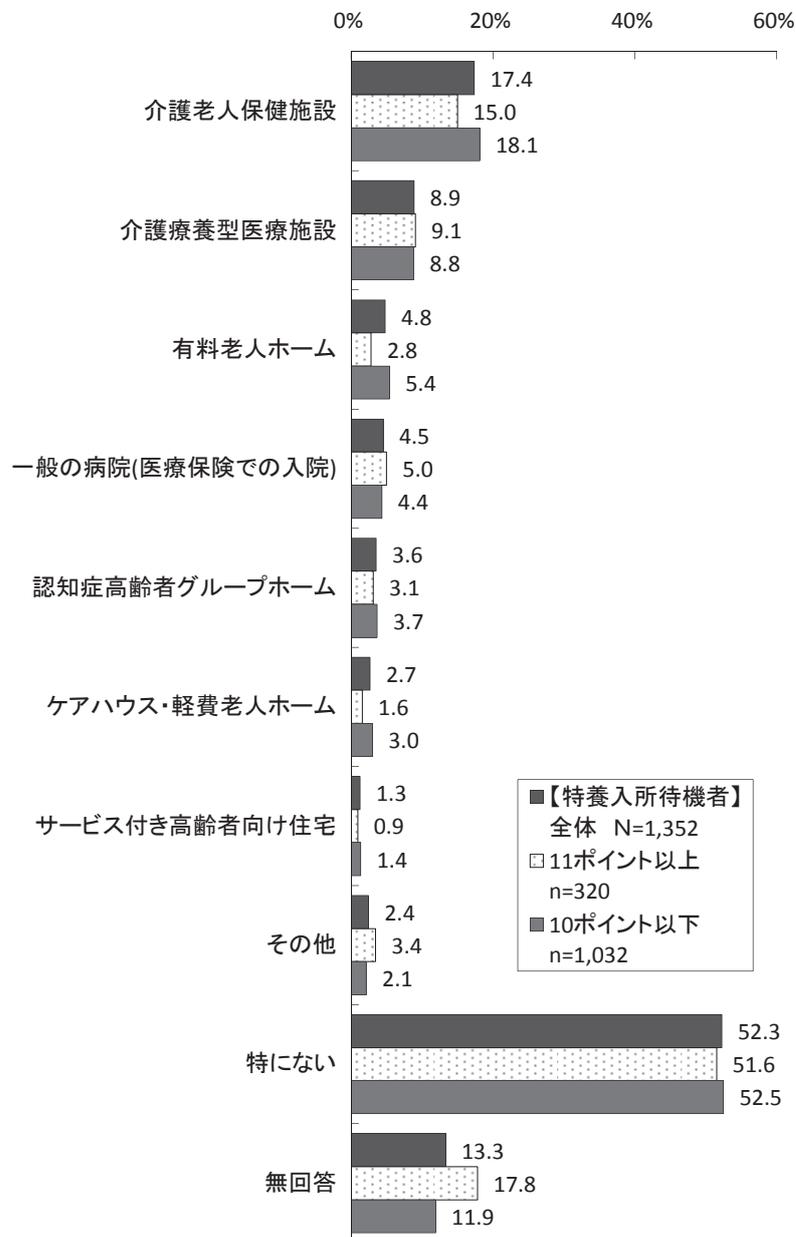


(4) 特別養護老人ホーム以外の入所申込みの状況

① 特別養護老人ホーム以外の入所申込みの状況

○「特にない」が5割を占めている中で、「介護老人保健施設」が最も多く、17.4%となっている。

■特別養護老人ホーム以外の入所申し込みの状況（複数回答）



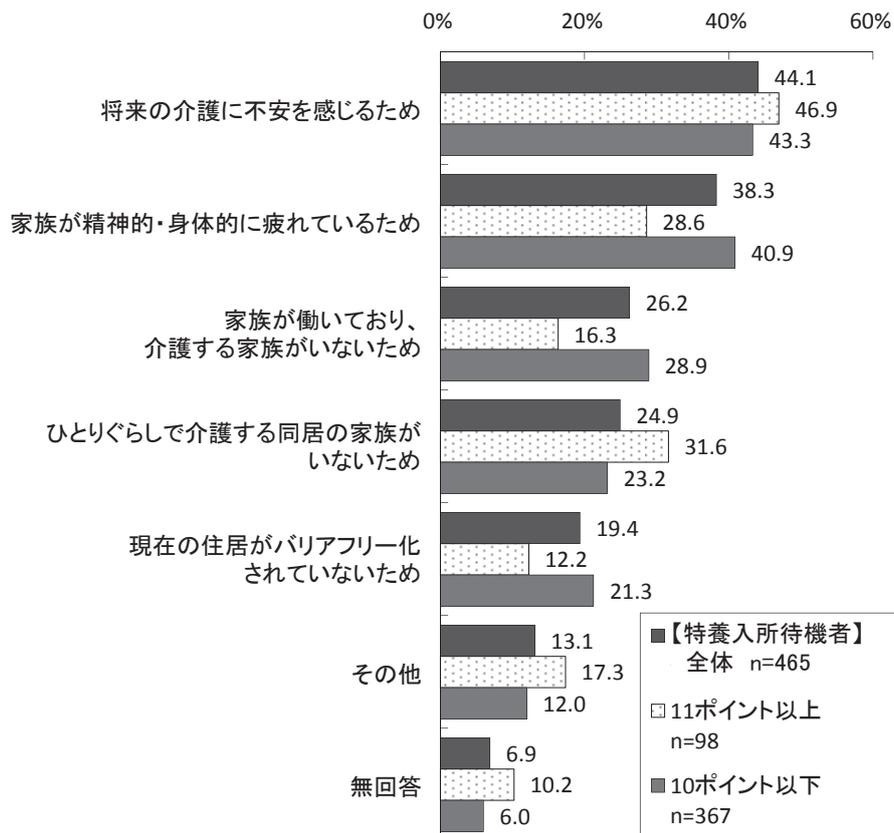
② 特別養護老人ホーム以外の施設等を利用したい理由と特別養護老人ホーム以外に申込みをしていない理由

ア. 特別養護老人ホーム以外の施設等を利用したい理由

○特別養護老人ホーム以外の入所申込みの状況で“特別養護老人ホーム以外に申込みをしている施設がある”と回答した人の特別養護老人ホーム以外の施設を利用したい理由は、「将来の介護に不安を感じるため」が最も多く 44.1%、次いで「家族が精神的・身体的に疲れているため」が 38.3%となっている。

○11ポイント以上では、「ひとりぐらしで介護する同居の家族がいないため」の割合も高くなっている。

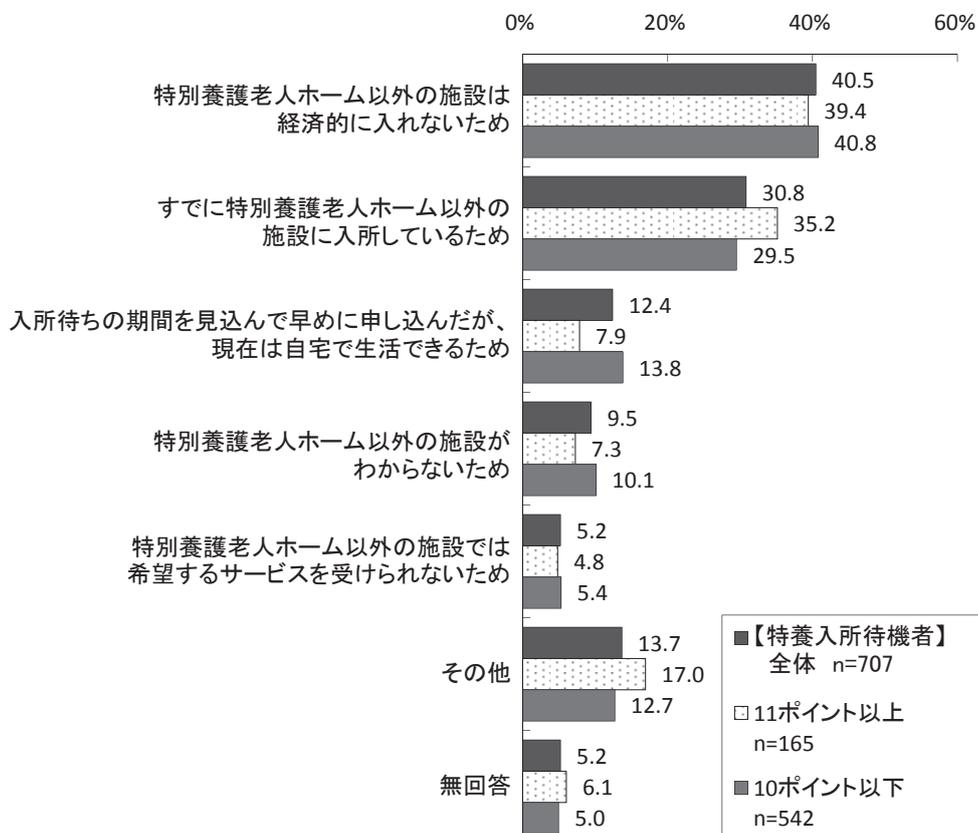
■特別養護老人ホーム以外の施設等を利用したい理由



イ. 特別養護老人ホーム以外に申込みをしていない理由

○特別養護老人ホーム以外の入所申込みの状況で「特にない」と回答した人の特別養護老人ホーム以外に申込みをしていない理由は、「特別養護老人ホーム以外の施設は経済的に入れないため」が最も多く40.5%、次いで「すでに特別養護老人ホーム以外の施設に入所しているため」が30.8%となっている。

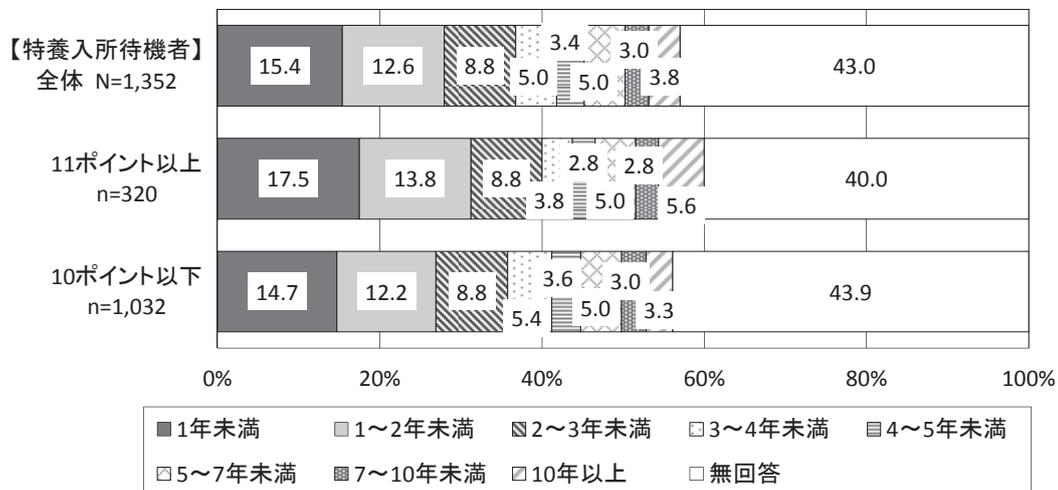
■特別養護老人ホーム以外に申込みをしていない理由（複数回答）



③ 最初に特別養護老人ホームの入所を申し込んだ時期

○最初に特別養護老人ホームの入所を申し込んだ時期からの入所待機年数は、「1年未満」が最も多く15.4%、「1～2年未満」（12.6%）、「2～3年未満」（8.8%）と回答した人も含めると、「3年未満」が3割を超えている。

■最初に特別養護老人ホームの入所を申し込んだ時期

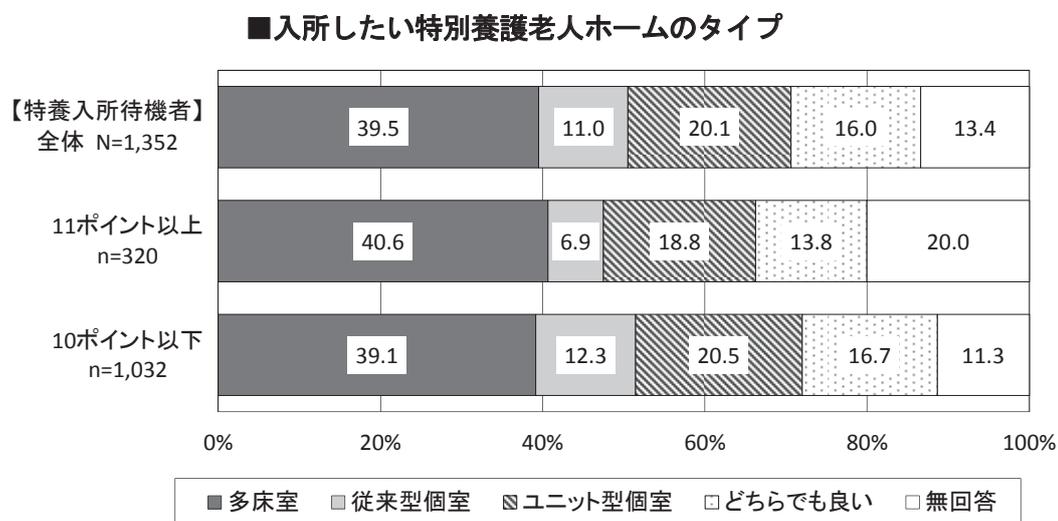


※ 起算点は平成25年11月

(5) 入所したい特別養護老人ホームのタイプ

① 入所したい特別養護老人ホームのタイプ

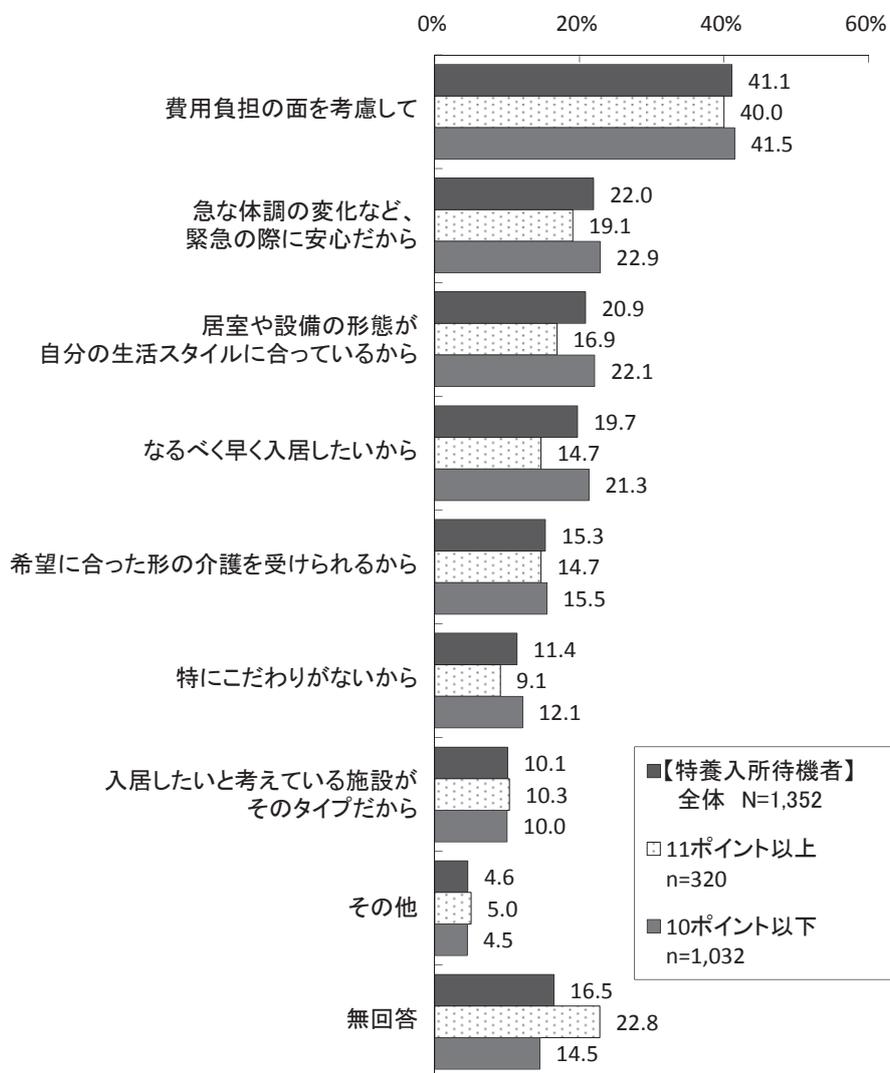
○「多床室」が最も多く 39.5%、次いで「ユニット型個室」が 20.1%となっている。



② 入所したい特別養護老人ホームのタイプの理由

○「費用負担の面を考慮して」が最も多く 41.1%、次いで「急な体調の変化など、緊急の際に安心だから」が 22.0%、「居室や設備の形態が自分の生活スタイルに合っているから」が 20.9%と続いている。

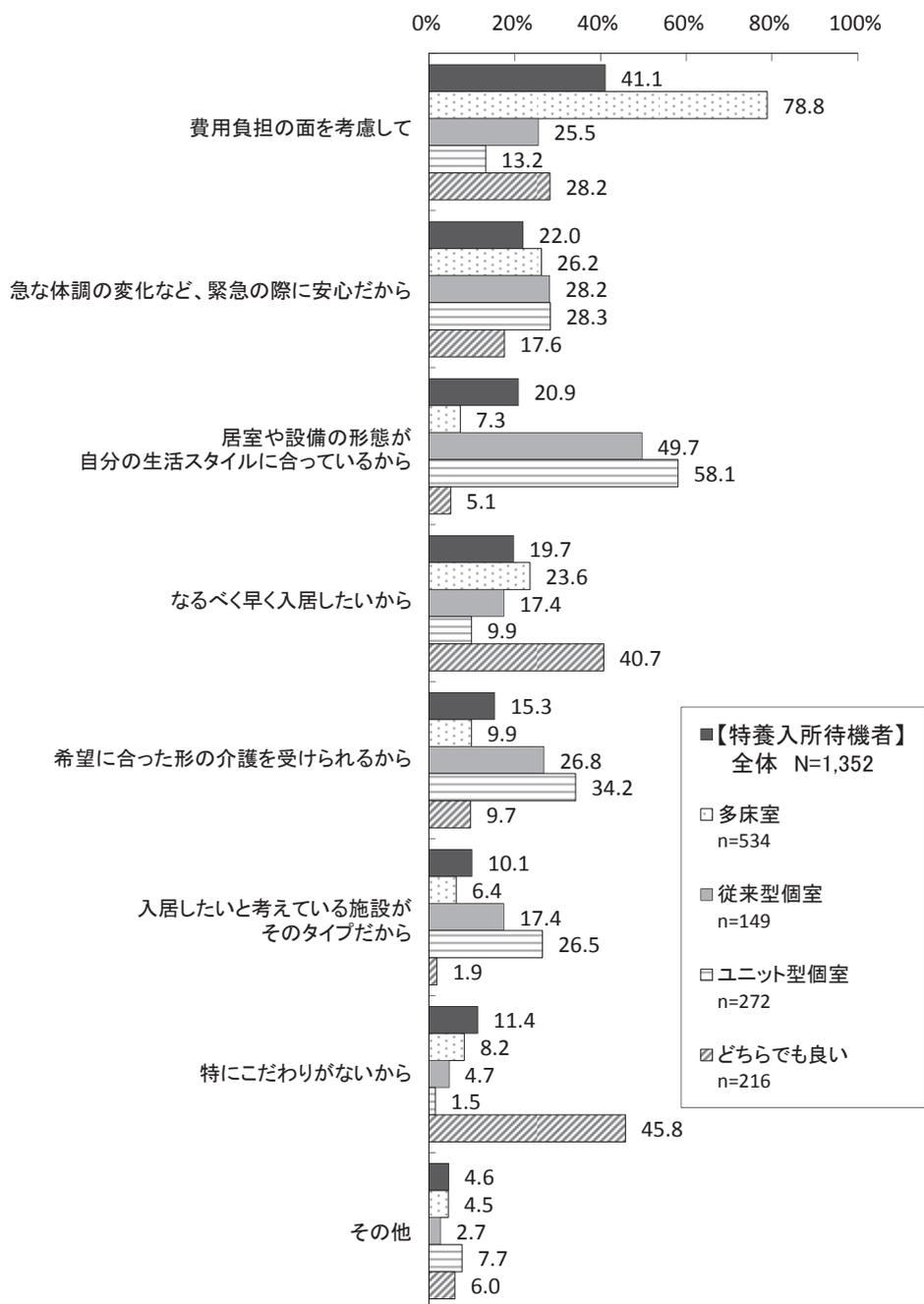
■入所したい特別養護老人ホームのタイプの理由（複数回答）



【特養入所待機者】

- 入所したい特別養護老人ホームのタイプ別にみると、多床室では「費用負担の面を考慮して」(78.8%)、従来型個室、ユニット型個室では「居室や設備の形態が自分の生活スタイルに合っているから」(49.7%、58.1%)が多い。
- どちらでも良いでは、「特にこだわりのないから」(45.8%)が多い。

■入所したい特別養護老人ホームのタイプの理由（複数回答）
 <特養入所待機者：希望する特養タイプ別>

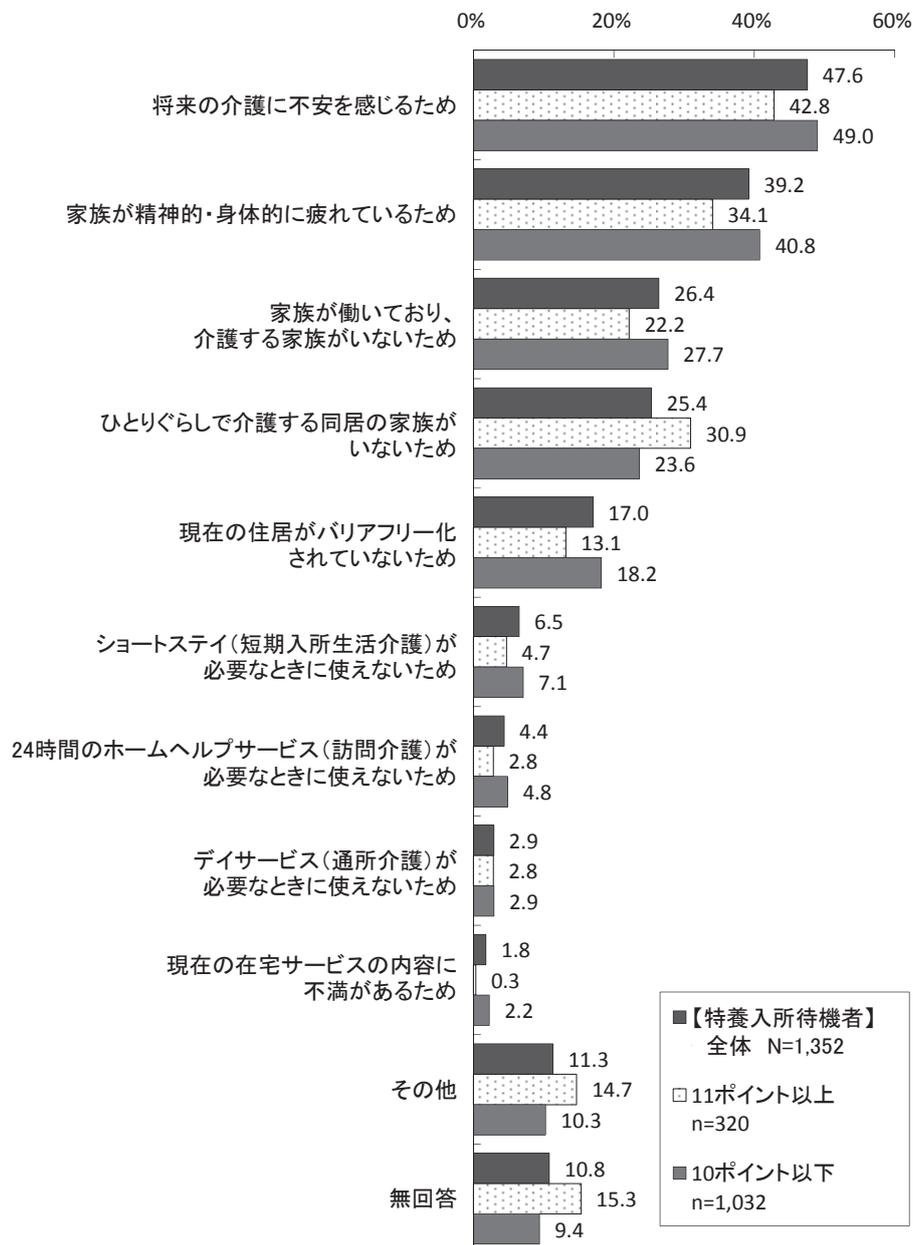


※ 無回答は省略

(6) 特別養護老人ホームを申し込んだ理由

- 「将来の介護に不安を感じるため」が最も多く 47.6%、次いで「家族が精神的・身体的に疲れているため」が 39.2%、「家族が働いており、介護する家族がいないため」が 26.4%、「ひとりぐらしで介護する同居の家族がいないため」が 25.4%と続いている。
- 11 ポイント以上では、「ひとりぐらしで介護する同居の家族がいないため」の割合が高くなっている。

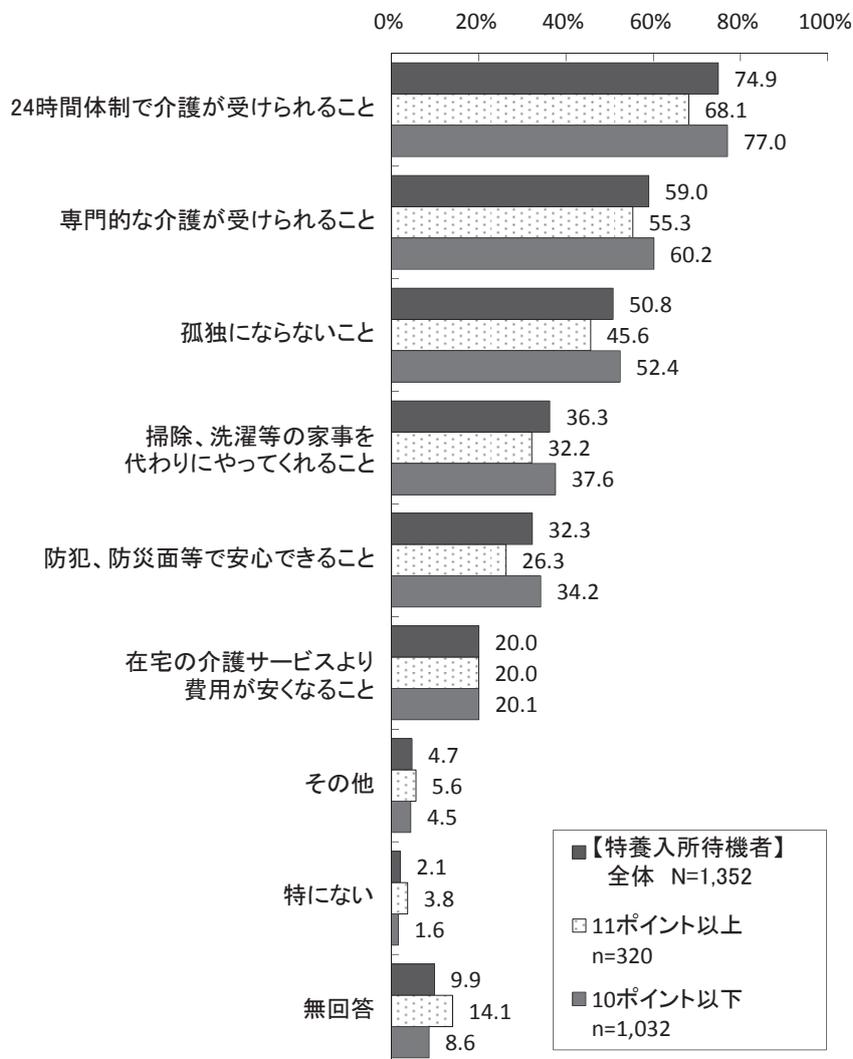
■特別養護老人ホームを申し込んだ理由（複数回答）



(7) 特別養護老人ホームに期待すること

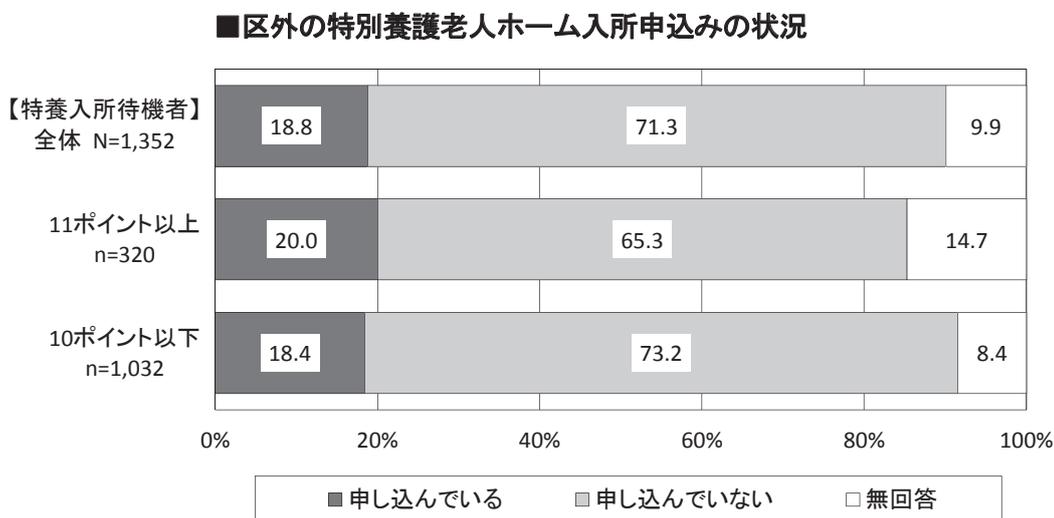
- 「24 時間体制で介護が受けられること」が最も多く 74.9%、次いで「専門的な介護が受けられること」が 59.0%、「孤独にならないこと」が 50.8%と続いている。
- 「その他」「特にない」を除くいずれの項目においても、10 ポイント以下の割合が高くなっている。

■特別養護老人ホームに期待すること（複数回答）

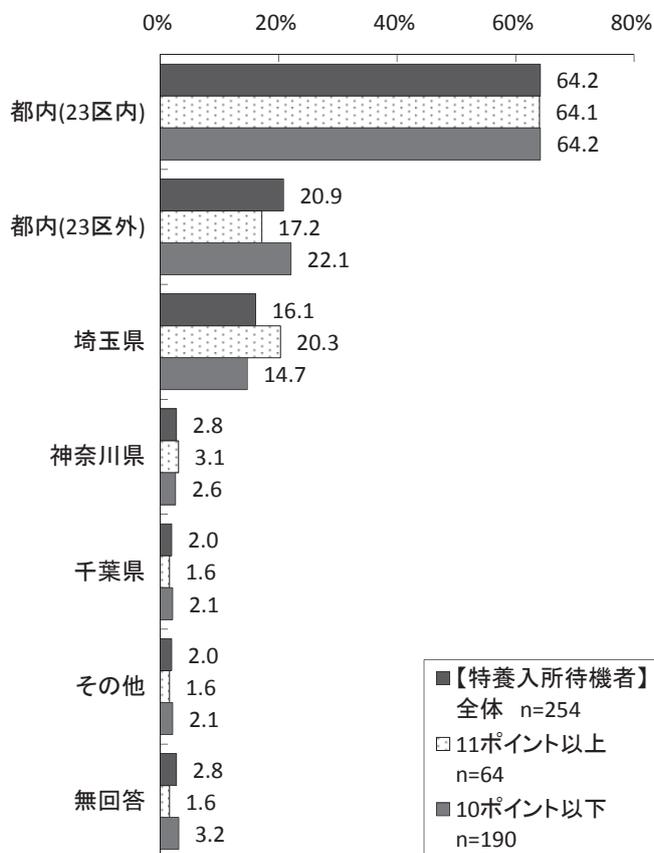


(8) 区外の特別養護老人ホーム入所申込み状況

- 区外の特別養護老人ホームに入所を「申し込んでいる」人は18.8%、「申し込んでいない」人は71.3%となっている。
- 区外の特別養護老人ホームに入所を「申し込んでいる」と回答した人の入所を申し込んでいる特別養護老人ホームの場所は、「都内(23区内)」が最も多く64.2%、次いで「都内(23区外)」が20.9%、「埼玉県」が16.1%と続いている。



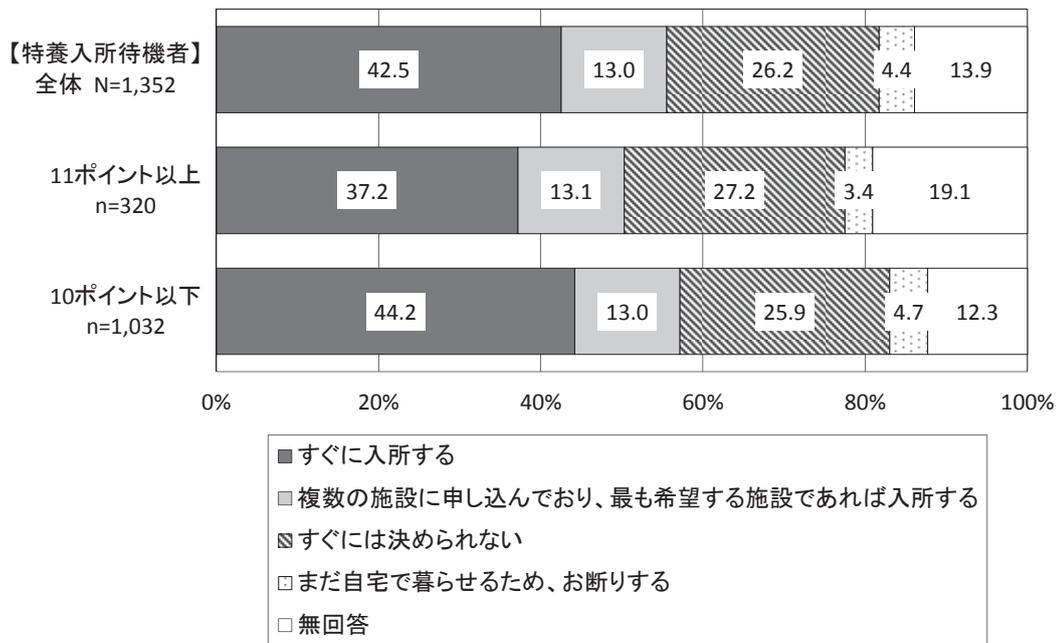
■入所を申し込んでいる特別養護老人ホームの場所（複数回答）



(9) 申し込んでいる特別養護老人ホームから連絡がきた場合の対応

- 申し込んでいる特別養護老人ホームから「入所できます」と連絡がきた場合の対応は、「すぐに入所する」が42.5%で最も多く、「複数の施設に申し込んでおり、最も希望する施設であれば入所する」が13.0%となっており、入所に積極的な人が5割を超える。
- 「すぐには決められない」と「まだ自宅で暮らせるため、お断りする」を合わせた“すぐに入所しない”は約3割となっている。

■ 申し込んでいる特別養護老人ホームから連絡がきた場合の対応



(10) サービス等の充実による在宅生活の継続希望

○「ぜひ、今の家で生活を続けたい」と「可能な限り今の家で生活を続けたい」「いつかは特別養護老人ホームに入所したい」を合わせた“当分は在宅生活を継続する”（45.3%）が、「1年以内に特別養護老人ホームに入所したい」「すぐに特別養護老人ホームに入所したい」を合わせた“特別養護老人ホームに入所したい”（34.7%）を上回っている。

